



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社Speee

コード番号 4499

URL <https://speee.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 大塚 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 西田 正孝

TEL 050-1748-0088

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	12,580	2.1	△640	—	△674	—	△571	—	△899	—
2025年9月期第3四半期	12,321	5.9	△326	—	△308	—	△228	—	△489	—

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 △899百万円(—%) 2025年9月期第3四半期 △489百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	△78.19	—
2025年9月期第3四半期	△44.12	—

(注) 1. EBITDA=税金等調整前四半期純利益+支払利息+減価償却費

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	12,739	6,580	51.6
2025年9月期	14,813	7,289	49.2

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 6,578百万円 2025年9月期 7,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.4	△1,193	—	△1,188	—	△1,455	—	△126.44

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の修正につきましては、本日(2026年8月14日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

株式会社Spiral Partners、株式会社Spark Nova、株式会社Advanced
新規 5社(社名) Strategy & Consulting、株式会社Frontegritty Consulting、株式会社
SynapXion

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年9月期3Q	11,563,000株	2025年9月期	11,494,750株
② 期末自己株式数	20,849株	2025年9月期	13,965株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	11,505,263株	2025年9月期3Q	11,105,779株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは「解き尽くす。未来を引きよせる。」をミッションとし、創業以来培ってきた、データ分析能力とテクノロジーを活かして、多様な産業領域のデジタルトランスフォーメーションを推進しております。

具体的には、デジタル化が進んでこなかった市場において生活者(消費者)と事業者を、デジタル化を通じて最適な形でマッチングすることを目指すレガシー産業DX事業、データの利活用によって企業のマーケティングを高度化することを目指すDXコンサルティング事業及びオンチェーン金融時代のインフラの提供を目指す金融DX事業を運営しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気は緩やかな回復基調にあるものの、世界的な金融引き締めや情勢不安、物価高騰などにより、依然として不透明な状況が続いております。このような状況下、当社グループを取り巻く事業環境においては、企業のDX推進ニーズは引き続き高く、当社サービスに対する需要は一定水準で推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高12,580,434千円(前年同期比2.1%増)、営業損失640,275千円(前年同期は営業損失326,650千円)、経常損失674,603千円(前年同期は経常損失308,893千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失899,610千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失489,993千円)となりました。

なお、当社グループでは、事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していく中、各国の会計基準の差異にとらわれることなく企業比較が可能なEBITDA(税金等調整前四半期純利益+支払利息+減価償却費)を経営指標として重視しており、当第3四半期連結累計期間のEBITDAはマイナス571,106千円(前年同期はEBITDAマイナス228,313千円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

また、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

① レガシー産業DX事業

「不動産DX」「リフォームDX」などが属するレガシー産業DX事業においては、売上高は8,637,859千円(前年同期比2.1%増)、セグメント利益は1,176,987千円(前年同期比53.0%増)となりました。これは集客効率の最適化に伴いユーザー獲得数は減少した一方で、ユーザー獲得後の遷移率と平均単価が改善したことにより、収益性が改善したためです。

② DXコンサルティング事業

DXコンサルティング事業は、提供ソリューションの多様化を推進した結果、高単価案件へのシフトが進み、案件数は前年同期比で減少した一方、顧客単価が上昇したことから、売上高は3,928,603千円(前年同期比1.7%増)となりました。またセグメント利益は、コンサルティング領域の拡張に向け、人員及びAIに関する先行投資を実行したことに伴い、970,025千円(前年同期比33.4%減)となりました。

③ 金融DX事業

金融DX事業においては、ステーブルコイン事業およびトークン化預金関連事業について、積極的な投資を継続・拡大しております。当連結会計年度においては、売上高は13,970千円(前年同期は一千円の売上)、セグメント損失は1,264,195千円(前年同期は851,536千円のセグメント損失)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,065,227千円となり、前連結会計年度末に比べ1,957,730千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が2,304,208千円減少したことによるものであります。固定資産は1,673,823千円となり、前連結会計年度末に比べ117,196千円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が80,381千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、12,739,050千円となり、前連結会計年度末に比べ2,074,926千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,555,154千円となり、前連結会計年度末に比べ655,457千円減少いたしました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金が374,940千円、賞与引当金が195,658千円減少したことによるものであります。固定負債は2,602,916千円となり、前連結会計年度末に比べ710,716千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が721,731千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,158,071千円となり、前連結会計年度末に比べ1,366,173千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,580,979千円となり、前連結会計年度末に比べ708,752千円減少いたしました。これは主に、資本金が95,481千円、資本剰余金が95,481千円増加、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が899,610千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.6%(前連結会計年度末は49.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2025年11月14日に公表いたしました2026年9月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2026年8月14日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,395,236	7,091,027
受取手形及び売掛金	3,084,137	3,343,641
その他	628,076	719,168
貸倒引当金	△84,492	△88,609
流動資産合計	13,022,957	11,065,227
固定資産		
有形固定資産	368,529	349,331
無形固定資産		
ソフトウェア	47,345	30,113
その他	1,961	1,575
無形固定資産合計	49,306	31,688
投資その他の資産	1,373,183	1,292,802
固定資産合計	1,791,019	1,673,823
資産合計	14,813,976	12,739,050
負債の部		
流動負債		
買掛金	582,586	625,786
1年内返済予定の長期借入金	1,370,568	995,628
未払金	1,130,495	1,203,751
未払法人税等	87,674	15,082
賞与引当金	393,148	197,490
その他	646,139	517,415
流動負債合計	4,210,612	3,555,154
固定負債		
長期借入金	3,130,531	2,408,800
資産除去債務	168,851	169,795
賞与引当金	14,250	18,108
その他	—	6,211
固定負債合計	3,313,632	2,602,916
負債合計	7,524,244	6,158,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,900,629	2,996,111
資本剰余金	2,940,639	3,036,121
利益剰余金	1,447,912	548,302
自己株式	△1,712	△1,819
株主資本合計	7,287,469	6,578,716
新株予約権	2,263	2,263
純資産合計	7,289,732	6,580,979
負債純資産合計	14,813,976	12,739,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	12,321,594	12,580,434
売上原価	2,557,261	3,191,518
売上総利益	9,764,332	9,388,915
販売費及び一般管理費	10,090,983	10,029,190
営業損失(△)	△326,650	△640,275
営業外収益		
受取利息	3,092	14,118
投資有価証券売却益	—	24,820
その他	38,219	12,176
営業外収益合計	41,312	51,115
営業外費用		
支払利息	5,767	34,854
支払補償費	—	45,412
その他	17,788	5,176
営業外費用合計	23,555	85,443
経常損失(△)	△308,893	△674,603
税金等調整前四半期純損失(△)	△308,893	△674,603
法人税、住民税及び事業税	103,734	95,065
法人税等調整額	77,365	129,940
法人税等合計	181,099	225,006
四半期純損失(△)	△489,993	△899,610
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△489,993	△899,610

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△489,993	△899,610
四半期包括利益	△489,993	△899,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△489,993	△899,610

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	74,812千円	68,642千円

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レガシー産業 DX	DXコンサルティング	金融DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,457,593	3,864,000	—	12,321,594	—	12,321,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8,600	—	8,600	△8,600	—
計	8,457,593	3,872,600	—	12,330,194	△8,600	12,321,594
セグメント利益 又は損失(△)	769,070	1,457,216	△851,536	1,374,750	△1,701,400	△326,650

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,701,400千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レガシー産業 DX	DXコンサルティング	金融DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,637,859	3,928,603	13,970	12,580,434	—	12,580,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	39,558	—	39,558	△39,558	—
計	8,637,859	3,968,162	13,970	12,619,993	△39,558	12,580,434
セグメント利益 又は損失(△)	1,176,987	970,025	△1,264,195	882,818	△1,523,093	△640,275

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,523,093千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(新設分割による新会社の設立)

当社は、2026年6月30日開催の取締役会決議に基づき、新設分割（以下、「本新設分割」）により株式会社Refact（以下、「新設子会社」）を2026年8月1日付で設立し、当社のリフォームDX事業に関する権利義務を承継いたしました。

1. 本取引の背景と目的

当社は2015年より、外壁塗装の会社探しサイト「ヌリカエ」を運営しており、信頼性の高い業者選びの難しさが課題となっていたリフォーム市場において、一貫して透明性の高い情報提供と「安心できる選択肢」を提供し続けてまいりました。その結果、累計利用者数は30万人（注1）を突破し、業界でNo. 1（注2）の評価をいただくなど、名実ともに国内最大級のサービスへと成長いたしました。加えて近年、地震や洪水、土砂災害など日本の自然災害が増え続ける傾向にある中、当社は2022年より損害保険ジャパン株式会社との業務提携を通じて、住まいに事故等の被害を受けたお客さまに対し、所定の基準を満たす建物修理業者を紹介するサービス「みんなのリペア」を展開してまいりました。

今後「ヌリカエ」「みんなのリペア」を含むリフォームDX事業について、当社の有するサービス開発のノウハウと幅広い加盟企業ネットワーク、SOMPOホールディングスの有する顧客基盤を活かしながら、当社とSOMPOホールディングスはリフォームDX領域において合弁会社を設立することについて誠実に協議することを合意いたしました。合弁会社では、両社の強みを活かしユーザーに寄り添いながら、災害時の保険契約者の負担軽減とリフォーム業界の健全な発展に向け「信頼・透明・迅速」を新たな標準とするという共通目標に向けて、取り組んでまいります。

（注1）ヌリカエから塗装店をご紹介した累計件数

（注2）調査概要

調査項目：累計利用者数、掲載中の口コミ数、掲載企業数（加盟店のみ）

調査期間：2026年3月1日～2026年4月7日

調査方法：主要10社への個別聞き取り調査

調査機関：日本マーケティングリサーチ機構

2. 本新設分割の要旨

（1）本新設分割の日程

新設分割計画承認取締役会決議日	2026年6月30日
分割日（効力発生日）	2026年8月1日

本新設分割は、会社法第805条の規定に基づく簡易新設分割の要件を満たすため、株主総会の承認を得ることなく行っております。

（2）本新設分割の方式

本新設分割は当社を分割会社とし、新設子会社を承継会社とする簡易新設分割です。

（3）本新設分割に係る割当ての内容

新設子会社は、本新設分割に際して普通株式の全てを当社に割当交付いたしました。

また、2026年9月に予定している新設子会社によるSOMPOホールディングスに対する第三者割当増資による株式発行及びSOMPOホールディングスによる当該株式の引受け及び払込みにより、新設子会社は、当社及びSOMPOホールディングスの合弁会社となり、出資比率は当社60.7%、SOMPOホールディングス39.3%になります。なお、合弁会社化後も、本合弁会社は当社の連結子会社です。

(4) 本新設分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行済みの新株予約権及び新株予約権付社債について本新設分割による取扱いの変更はありません。

(5) 本新設分割により増減する資本金

本新設分割による当社の資本金の増減はありません。

(6) 新設子会社が承継する権利義務

新設子会社は、新設分割計画に定めるところに従い、効力発生日において本事業に係る資産及び負債並びに契約上の権利義務及びその地位を承継いたしました。

(7) 債務履行の見込み

本新設分割の効力発生日後において、新設子会社が負担すべき債務についてその履行の見込みに問題は無いものと判断しております。

3. 本新設分割の当事会社の概要

	分割会社／当社 (2025年9月30日時点)	承継会社／新設子会社 (2026年8月1日)
(1) 名称	株式会社Speee	株式会社ReFact
(2) 所在地	東京都港区六本木3-2-1	東京都港区六本木3-2-1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 大塚 英樹	代表取締役 田口 政実
(4) 事業内容	・金融DX ・レガシー産業DX ・DXコンサルティング	リフォーム・リペア領域のデジタル トランスフォーメーション支援事業
(5) 資本金	2,900,629千円	100,000千円
(6) 設立年月日	2007年11月29日	2026年8月1日
(7) 発行済株式数	11,494,750株	10,000株
(8) 決算期	9月30日	9月30日
(9) 大株主及び持分比率	大塚 英樹 22.48% 株式会社Print 21.86% 久田 哲史 19.13%	当社 100%

4. 分割会社の直近事業年度の財政状態

決算期	2023年9月期（連結）	2024年9月期（連結）	2025年9月期（連結）
純資産	5,044百万円	5,417百万円	7,289百万円
総資産	11,295百万円	10,116百万円	14,813百万円

5. 分割した事業の内容

(1) 分割する事業の内容

リフォーム・リペア領域のデジタルトランスフォーメーション支援事業

(2) 分割する事業の経営成績

売上高3,811百万円（2025年9月期）

(3) 分割する資産、負債の項目および金額 (2026年3月31日時点) (注3)

資産		負債	
項目	帳簿価格	項目	帳簿価格
流動資産	1,092百万円	流動負債	450百万円
固定資産	58百万円	固定負債	—
合計	1,151百万円	合計	450百万円

(注3) 実際に分割される資産・負債の金額は、上記金額に本分割の効力発生日までの増減を加除したうえで確定いたします。

6. 本新設分割後の状況

本新設分割による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期の変更はありません。